様式第3

会 議 録

会 議 名	令和元年度 第1回消防組織検討会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 消防概況について(報告)(公開) 2 消防の課題について(公開)
日 時	令和元年10月1日(火) 午後6時30分から午後8時30分まで
場 所	市役所高層棟 5 階 5 1 1・5 1 2 会議室
出席者氏名	会 長 内藤浩幸 副会長 佐塚和昭 委 員 片野剛、川田晋司、藤井正則、竹之内義和、 野本恵一、井上淳一、上原康永、中村浩二、 蓮沼与一、増茂健一、野島洋一、中島清彦、 稲橋嘉彦、篠崎雅行 事務局 今村繁(副市長)、菅野透(消防長)、太田義 則(次長兼消防署長)、宮田明(参事兼総務課 長)、中島正美(予防課長)、園田誠一(警防 課長)秋山健治(総務課庶務係長)、田村雄一 (総務課庶務係主任主事)
欠席委員氏名	無し
傍 聴 者	無し
議事	第1回消防組織検討会の会議結果(概要)は、次のとおりである。
消防本部総務課庶務係長	令和元年10月1日午後6時30分、開会を宣言し、会議の成立について報告した。会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明した。 会議録作成のため録音機を使用することについて了解を得た。

副市長

消防本部総務課庶務係長

副市長の挨拶を求める。

<挨拶>

8月16日開催の消防委員会で指名後、初めての検討会開催であるため、会長・副会長から各委員の自己紹介を行い、市の出席者並びに事務局の職員を紹介した。野田市消防委員会条例第7条第7項の規定により議長を会長に依頼する。

会長

<挨拶>

議題1 消防概況について(報告)

消防概況について(報告)の内容について、事務局 に説明を求める。

消防総務課長

< 資料に基づき消防概況について(報告)の内容を説明>

会長

消防概況について(報告)の内容について、質疑 及び意見を求める。

質疑及び意見無し

意見がないようなので概況についてはこれでよろ しいか問う。

<異議無しの声>

議題2 消防の課題について

消防の課題について、事務局に説明を求める。

消防総務課長

会長

<消防の課題について説明>

消防の課題について、質疑及び意見のほか、委員が 思う課題を求める。

・・委員

消防の課題として優先順位の1番目に上がっている救急件数の増加と組織の出動体制の見直しについて意見を述べたい。

常備消防でも消防委員会で示したとおり、平成 28 年から3年間で救急現場への到着平均時間が37秒遅れている。

要因としては条件にもよるが消防車が出動する火 災があると兼任のため救急車が出動できないという 状態がある。

火災時に限らず、通常運用の救急隊は6隊のため、 それを超えた救急要請があると、近隣の流山市や柏市 へ応援要請をして対応をすることになる。 野田市が南北に長いため状況によっては到着まで 1時間ほど掛かることもある。

こういった事態を軽減するため現在救急隊が兼任 となっている中央分署・北分署・関宿北出張所につい ても救急隊は専従で運用を行いたい。

ここ3年ほどで救急の現場到着時間が30秒以上伸びている問題について救急隊の専従化にて対応したいとのことでありました。

今の意見への質疑含めほかに何か意見はあるか。

本年度実施した消防設備・施設等実施計画実態調査 によると救急車の算定台数が7台となった。

人口2万人に対し1台という基準。

3 年前までは地域の特性を考慮した結果 6 台となり、充足率 100%として運用していたが、年々増加している出場数や現場到着の延伸を鑑み、地域の特性という考えはやめた結果、7 台になった。

ただ、現状7台の運用ができるかというと、人員の 配置や施設の状況からは難しいところである。

参考資料の消防施設整備計画実態調査総括表にある、救急車の充足率について、野田市の現状を含めた説明をいただいた。

何か意見はあるか求める。

特になし

これまで出たことに対してでも構わないので、消防 団からの意見として何かあるか求める。

消防団員の人数が減少するというのは、いろいろな 団員の話を聞くと、あの手この手を使っても難しいと 言われる。

私も一緒に勧誘の手伝いに行っても、難しいところがあり、一つの意見として近くの分団と合併すると、 人員も増え活動内容も緩和される等余裕が出るという意見がある。

また、若い世代を勧誘する際、自動車免許について 現在普通免許と中型免許の区分けの関係で備付けの 消防車両を運転できないという問題が起きている。

消防車両の変更等対応予定があるのか教えてもら

会長

・・委員

会長

会長

・・委員

	えると有り難い。
会長	団の合併、免許制度の問題について意見が出まし
	た。まずは免許について回答します。
	現状の免許制度であるとポンプ車が 3.5t 以上扱い
	で運転できない。小型ポンプ車については普通車であ
	るため、割合的に問題として表に出てきていない。
	今後は中型免許取得の補助制度についても検討し
	ている。
	警防課から何か補足はありますか。
警防課長	免許については平成 29 年に話題となったが、現在
	の機関員は 5 年以上の在籍者がほとんどで運転に関
	する支障はでていない。
	今後3.5t以下の車に切り替えていくかということ
	については、今は支障が出ていないとしか言えない。
	免許取得補助金についても検討中課題である。
	入団勧誘については自分が運転できないことを気
	にする必要はない、と勧誘を進めていただきたい。
・・委員	ありがとうございました。
会長	ほかに何かあるか。
・・委員	南方面隊で、我々の分団で管理している消防車が、
	年式が古いこともありマニュアル車である。
	オートマ限定免許の団員しかいないので、運転する
	ことができない問題がおこっている。
	消防車の費用・特殊性からすぐには難しいだろう
	が、オートマ車を増やす・切り替えることを検討して
	いただきたい。
会長	消防団車両のマニュアルとオートマの比率は分か
## 71 *** =	りますでしょうか。
警防課長	資料はないので今後確認の上、オートマに切り替え スハネないと思います。
	ていきたいと思います。
会長	記憶の限りでは、マニュアル車は大分減っている。
	車両更新時にマニュアルだったものはオートマに変 悪している
	更している。
・・委員	現状としてマニュアルのままであり、乗れないとい
	う問題が出てきているので、早期に検討願えればと思 いまま、以上です
	います。以上です。

会長

・・委員

ほか何かにございますか。

常備消防の3番目の課題としてある、複雑多様化する各種災害について。

実際にどういったものかというと

- ・阪神淡路大震災に代表される大規模自然災害
- ・地下鉄サリン事件における化学剤を使用したテロ行 為
- ・東日本大震災の津波被害による原子力発電所での核 災害

などがその一部に当たります。

世界規模で見ると自爆テロなどの爆発物による大量殺傷事案もある。

これは来年開催される東京オリンピックで十分起 こりうると考えられており、開催地である東京消防庁 ほか、神奈川・千葉も開催エリアとなっているため、 本県消防も、対策としての訓練や装備の充実が図られ ている。

野田市も開催地でないからではなく、備えておくことが必要であるものだと思う。

特殊災害対応の装備を保有し、最前線で作業に当たるのが消防組織の中の特別救助隊

専門的な知識を習得させ、繰り返し訓練をする必要がある部隊だと思う。

現在の野田市特別救助隊は、災害時、救助事案以外の火災等事案では、ポンプ隊として出場している兼任 隊員である。

救急隊同様に専任化し、充実した訓練時間を持たせ たい。

救急件数増加に伴う救急隊体制の見直しだけでなく救助隊についても見直す、組織再編についての課題であると思われます。

ちなみに東葛地区の他市状況はどのようになっているか分かりますか。

東葛エリア 11 市ですと専任化されていないのは野田市のみとなっております。

ほかに意見はないか求める。

会長

・・委員

会長

特になし

中央方面隊・北方面隊へ忌憚のない意見を求める。

初めての出席なので質問なのですが

資料にある消防の課題についての1番目2番目3番目というのは事務局側からの案ということでよろしいか。

はい。

分かりました。主だって消防団の件で、行事が多いことを理由に、新入団員が減少しているように書かれているが、毎年の繰り返しで慣れていく団員も中にはいる。行事が多いということが、単純な理由ではないのに、それが原因で新入団員がこないという書き方になっているように感じた。

誘う相手も不適格な相手ではなく、この人にいてほ しいと思うような人を誘うので、真剣に検討し自分が 出られない影響を考え辞退してしまうことが多い。

行事が多いことについても、勧誘する既存分団員が うまく説明していけるようになれば、そういった事象 は解決していくと思うし、分団自体の雰囲気もよくな り、今問題になっているモラルハラスメント等につい てもおきなくなってくるのではないか。

分団としても 2~3 年でやめてしまう人よりは長く続けて救急・災害時の状況に対応できる人を欲している。

分団長等に、勧誘活動で成功している事例を集めて 提供してもらえると、今後の参考になると思う。

事務局へ意見を求める

総務省消防庁の HP にある、消防団充実強化取組事例のページに全国の事例集がある旨を説明

さらに、資料にある消防団員の確保等に向けた重点 取組事項について説明する。

重点取組事項から、野田市消防団について考えた結果、課題1番目として負担軽減や報酬改善、2番目に 団員確保の取組の充実となった。

団員の確保については、全国事例も参考に今後進め

・・委員

消防総務課長

・・委員

会長 消防総務課長

ていきたい。 会長 ほかに何かあるか、北方面隊は何かあるか求める。 ・・委員 野田市の消防団協力事業所はどれぐらいあるのか。 また、分団員はその中からどれぐらい出ているのか。 消防長 現在の在籍団員数は、正確なところ把握できていな いが、24事業所ある。規則にある3人以上の所属で あったり、団活動への協力、援助をいただいている団 体に認定している。 ちば東葛農協を皮切りに認定が始まり 2 年の期限 を設けている。 事業所登録数は野田市は上位に入る。今後は防災協 会との連携も視野に入れたいと考えている。 会長 ほかに何かあるか 消防団の課題として 3 番目の消防団装備の改善に 副委員長 ついて、車両や事務所の改善だけでなく個人装備につ いても改善をする必要があると思う。 野田市の場合、大火の際は現場に近い位置で作業を することが多く、水害の際は地域の自主防災の点で、 消防団が救助に当たれるよう胴長が必要ではないか と思う。(現在は銀の刺し子のみ) 会長 装備計画について事務局に説明を求める 警防課長 装備については今後の検討課題であるとは感じて いる。 警防課で被服はやっていないが、今年度は災害時連 絡用のトランシーバーの導入配布を、来年度以降はチ ェーンソー等の導入を計画している。 防火衣については今後検討の上常備職員に近い水 準の物を配備できるよう検討していければと思う。 会長 装備について、防火衣は警防課が担当、活動服は総 務課が担当と別れており、防火衣については車両更新 のタイミングに合わせて置き換えている状態です。 ほかに何かあるか 議論のきっかけとして消防団の方々にお聞きした 消防長 ll. 消防団員確保に向けて様々な身分の方が対象とな

っているが、議会一般質問で機能別消防団員、消防団

OBの方々を活用するということについて質問が出た経緯があり、消防団幹部会議に諮って体制がとれるようならば検討していきたいと回答した経緯がある。

その際の幹部会議では、OBに再び協力を願う体制というのは難しいのではないかとの声があり、基本団員の積極的確保をしていこう、との結論になったのですが、御存じのとおり現在は減少傾向にある。

国からは、大規模災害時限定で活動してもらう、機 能別消防団を作ったらという提案もある。

千葉県内では、山間部地域で消防団OBを活用している事例も出てきており、東葛での事例はないが、野田のOB活用について、今後の参考にお聞きしたい。

消防団OB採用について考えると、消防団の年齢制限はないのか。

条例に年齢の上限はない。

希望者が再び参加する方法と、OBだけの機能別分団を作るかという二つの方法がある。

機能別分団のための新しい拠点を作れるのか、報酬 は一般分団と機能別分団で差別化するのか等、様々な 検討事項はある。

OBだけの分団を作ることは有りだと思う。

個人的な意見ではあるが、OBの方が復帰すること については現在の団員が気を使ってしまう等起こる かもしれない。

幹部会議でも同様の話は出ました。

ただ、現在も火災現場に、OBの方が協力に訪れた りすることも多々あると聞いている。

聞いた話によると、関宿の29の3分団エリアで、 消防団OBによる活動が始まっているという話を聞いている。

消防への届出はないが火災が起きた際、現場に向かう等しているとのこと。

中央方面隊管轄、中野台5分団管轄では団員が6、7名と少数のまま、新団員の確保ができない状態が続いたため、OBの方々から6、7名再び消防団に参加していただけることとなり、届出を提出した。

・・委員

消防長

・・委員

消防長

会長

・・委員

先に出た懸念については理解しているが、地元の防 災を優先するため戻っていただいた。

1分団下町地区では自衛団という形でOB中心に活動をしているところがあるようだ。以上です。

ありがとうございました。

OBが再び入ることについて、良いことだと思っている。

勧誘についてですが、全国の事例を見ると女性や学生の消防団活動について多く見られるが、学生も消防団に入れるということになっているのですか。

学生が入りたいという話を受けた際、野田に住んでいて仕事をしているという認識だったので、その点について変わってきたのかなと。

入団規程では 18 歳以上ということですので大学生 の入団は可能です。

現在の構成員に大学生からの参加者はいないが。 また、市外居住者であっても野田市内に勤務してい る人が、野田市の消防団活動を行うのは可能です。

国の動きとしては、大学在籍中に地域活動として消防団に参加したという、認定証を出せばリクルートの際のプラスになるのではということで進めている。

女性消防団は平成19年度に結成したが、高齢化が 進んでおり、こちらについても活性化を図りたいと考 えている。

ほかに何かあるか。

特になし

では最後にこちらからお聞きしたいことを。

消防団の負担軽減、消防団の操法大会について、現在野田市では、各分団3、4年ごとに出場機会がある形で行っております。

東葛管内では、市内大会を毎年全分団参加で行っている市もあり、操法大会に関する負担度合いについて、各方面隊からの考えをお聞かせいただきたい。

中央方面隊からお願いします。

中央方面隊は4年前くらいから人員の確保や練習時間の点から厳しいとの声が上がっている。

会長

・・委員

消防長

会長

会長

・・委員

ポンプ車操法は2年毎、以前は毎年出場していたよ うな時期もあり、3年前から3年に1度のサイクルに することで対応している。 南方面隊、我々のところでは操法訓練・規律訓練を ・・委員 行う際、ただでさえ人数が少ない現状 極力団員には声を掛けているが、人が集まらないと どうにもならないので、現状の3年に1度ペースが限 界であるというのが本音 北方面隊ではポンプ車が2台あるので1年おき、2 ・・委員 年に1度の参加、小型ポンプは3年か4年に一度の参 加であるが、これ以上のペースで参加をするのは費用 等含め難しい。 ・・委員 関宿方面隊も3~4年に一度の参加であるが、毎年 ということになると、毎年同じメンバーが参加するこ とになり、各団員家庭での生活等あるため非常に厳し いと思う。 ありがとうございました。 会長 操法大会に関する意見について今後の参考にさせ ていただきます。 ほかに何かあるか。 ・・委員 せっかくなので消防団員確保の現状について、船形 なんですが、ここは非常に件数が少ない地域で勧誘に いってもお子さんは都内に働きに出ている方が多く、 親しか住んでいなかったりお子さんは日中市内にい ないケースが非常に多いです。 会長 ほかに何かあるか。 特になし これで本日の議題は全て終了しましたが、事務局か ら何かあるか。 会議録の公開について、本庁総務課から発言がある 消防本部総務課庶務係長 ことを伝え時間をいただけないか確認する。 <異議無し> 会長 ではお願いいたします。 <会議録・会議資料・委員名簿のホームページ掲載に 総務課課長補佐 ついて委員の判断により掲載する旨、説明する。 > 会長 項目が多いため、順を追ってとし、会議録について、

改めて、説明を求める。 総務課課長補佐 <会議録のホームページ掲載について、説明する。> ・・委員 概要版でいいのではないかと思います。 発言者の氏名を書くか、全文にするか、概要版にす 会長 るか皆様の多数決をお願いする。 概要版、全員 会長 多数と認めます、では概要版を作成するということ で決定します。 会議録のホームページを掲載するか否かを判断す 総務課長補佐 ることを求める。 会長 質問はあるか。 ・・委員 消防委員会の会議録は掲載されていますよね。 総務課長補佐 了承を得て掲載されている。 ・・委員 では我々も掲載でいいと思う。 会長 それでは決を採りたいと思います。 掲載替成:全員 掲載することで決定いたします。 次に会議資料をホームページに掲載するか否かに ついて説明を求めます。 <会議資料ホームページ掲載について、今後の開催分 総務課長補佐 も含め掲載するか否か判断することを求める。 > ・・委員 消防委員会同様掲載でよろしいかと思います 会長 それでは決を採りたいと思います。 掲載賛成:全員 掲載することで決定いたします。 次に委員名簿をホームページに掲載するか否かに ついて説明を求めます。 < 委員名簿をホームページ掲載について、まずは掲載 総務課長補佐 の可否、次に掲載する場合、掲載する形式について確 認する旨説明する。> 会長 何かありますでしょうか。 ・・委員 ほかの審議会で公表されているものであるので形 式についても同様で構わないのではないか。 会長 ではまずホームページ掲載について伺います。 掲載賛成:全員

掲載することで決定いたします。

総務課長補佐

次に名簿の形式について判断したいと思います。

掲載形式について説明し事務局が配った名簿のと おりの掲載でいいのか委員の判断を求める。

会長

質問・意見等はあるか

・・委員

役職等については自分の勤務している会社がでる のか。

総務課長補佐

役職等については配られた名簿にあるように、選出 区分における立場なので個人でお勤めになっている 会社が出るというものではございません。

会長

ほかに何かあるか。

消防長

一点だけ、任期が2年ある中で役職等変わることは 十分に考えられる。名簿についてはその都度更新する ということになるのか。

総務課長補佐

検討会で判断していただくものなのでその都度更 新していただいてもかまわない。

会長

では掲載形式について決を採りたいと思います。

事務局作成名簿のとおりで良い:全員

本日お配りした名簿のとおり掲載することといた します。

消防総務課長

一点だけ、会議録を概要版で作成することに決まりましたが、消防委員会では会議録の概要を載せるに当たり各委員の氏名は載せていないのですが、検討会の会議録について名前を掲載するのか確認したい。

会長

氏名について掲載するか委員会と同様でよろしい か伺います。

・・委員

委員会同様でよろしいと思います。

異議無し

消防総務課長

ではそのように作成いたします。

総務課長補佐

総務課からは以上になります。

会長

事務局からほかにあるか

消防総務課長

<次回の日程をお知らせする。>

本日の内容が案として出させていただきましたが、 この内容を元に報告書を作成し優先順位について検 討していただきたい。

その上で12月18日開催予定の第2回消防委員会に報告したいと思っております。

	1 1月5日火曜日午後6時30分からの開催予定
	で、詳細は追って連絡いたします。
会長	委員から何かあるか
消防長	次回までに各方面隊に持ち帰り問題点を検討して
	いただき、意見があれば消防本部総務課まで。それら
	を盛り込んで次回資料を作成したい。
会長	ほかに何かあるか。
	意見無し
	午後8時30分、閉会を宣言した。
	以上